

中国圏広域地方計画に係る 市町村からの計画提案について

本年4月1日から4月28日までの4週間で募集し、22市町村から計43件の計画提案が提出されました。

市町村による計画提案の概要は以下のとおり

(1) 圏域の活力を支える基盤の整備に関する提案(12件)

- ・ 交流・連携に資する高規格幹線道路や地域高規格道路等の整備
(山陰自動車道、小郡萩道路、関門海峡道路等)
- ・ 日本海沿岸における港湾整備(浜田港等) など

(2) 中山間地域の振興に関する提案(8件)

- ・ 一次産業としての農林業から産業化を進める上で必要となる人材育成
- ・ 市町村単位での一次生活拠点整備の推進と地域医療支援
- ・ 中山間地域の位置づけ(地球温暖化防止、水源涵養機能)など

(3) 歴史・文化保全と観光振興に関する提案(5件)

- ・ 歴史・文化等の保全と活用(歴史的風致地区の維持、文化資源や地質遺産の保全と活用) など

(4) 国土管理に関する提案(13件)

- ・ 大規模災害時等における拠点整備と原子力災害時の体制
- ・ 自然環境の保全(日本海・瀬戸内海的环境改善等) など

(5) その他の提案(5件)

- ・ 内陸部の中小都市の問題と公共交通ネットワークの充実 など

計画提案の詳細及び整理は、別紙「中国圏広域地方計画に係る計画提案の整理について」を参照

別紙

中国圏広域地方計画に係る計画提案の整理について

都道府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容（計画に記載すべき文章案）	中国圏広域地方計画計画原案（該当箇所等）
鳥取県	鳥取市	1	山陰海岸ジオパークを活かした日本海沿岸隣接圏域との学術・観光交流を推進すること。	地質遺産と学術交流については、第2章第1節2. (1)「隣接圏域との広域連携の推進」に主旨を反映。
鳥取県	鳥取市	2	ジオツーリズムを追加	ジオツーリズムについては、第3章10「◇魅力ある観光地の形成とネットワーク化」で主旨を反映。 なお、個別具体の例示については、代表的なものを記載することとしている。
鳥取県	鳥取市	3	山陰海岸の保全・活用を推進すること。	山陰海岸の保全・活用の推進については、第3章10「◇魅力ある歴史・文化・自然の保護・継承・創造」で主旨を反映。
鳥取県	伯耆町	4	「日本海沿岸地域」と「瀬戸内海地域」にわけて記述をおこなわず、自然環境や景観の保全、山の修復等の環境創造を全圏域内で一体的に行う必要がある。	自然環境の保全については、第2章第3節2. (3)「自然環境の保全」で主旨を反映。
鳥取県	伯耆町	5	下線部分に変更する。 この際、農業については、農地転用規制の厳格化による優良農地の確保と所有から利用への転換による農地の有効利用の促進を念頭に、集約化が極めて困難な小規模農地が数多く存在するという中国圏の特性を踏まえ、 <u>生き甲斐としての農業や荒廃防止のための維持管理としての農業など多角的な農業施策の展開を図る。</u>	生き甲斐としての農業については、第2章第3節2. (4)「中山間地域の多面的機能の維持」で主旨を反映。 荒廃防止としての維持管理については、第2章第2節3. (1)「農林水産業の再生」に主旨を反映。
鳥取県	伯耆町	6	下線部分を付け加える また、小規模高齢化集落等を抱える中山間地域等における生活サービスの提供を効率的に進めるため、行政窓口や診療所等の身近な暮らしを支える機能が集約したセンター施設（ <u>市町村を単位とする、一次生活拠点</u> ）などの整備を推進する。	一次生活拠点整備単位については、第3章7「◇中山間地域等を支える一次生活拠点機能の充実」で主旨を反映。
鳥取県	伯耆町	7	下線部分を付け加える。 また、中山間地域等においては、一次生活拠点や小中学校等への生活交通を確保するため、コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーなど、地域の実情・ニーズに応じた公共交通の整備を図る。 <u>さらに、各自治体独自のコミュニティバス等、中山間地域での既存の公共交通の機能強化、及びこれらの各自治体連携による地域交通網の機能維持を図る。</u>	公共交通の維持・強化、地域交通網の強化については、第3章7「◇地域の実情に応じた交通機能の確保と情報通信環境の充実」で主旨を反映。

都道府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容（計画に記載すべき文章案）	中国圏広域地方計画計画原案（該当箇所等）
鳥取県	伯耆町	8	下線部分を付け加える。 ○治水・土砂・高潮・浸食対策の推進 ・河川流域圏における…………… 海岸侵食対策の推進。 ・砂防や地すべり対策、急傾斜地崩壊対策、治山事業等土砂災害対策の推進及び砂防ダムの土砂除去による機能維持。	砂防ダムにおける土砂管理については、第3章14「◇社会資本の戦略的な維持管理」に主旨を反映。
鳥取県	日南町	9	特に中山間地域の持つ資源である「森林・農地」は、バイオマスエネルギー等新たなエネルギー資源として産業化の可能性を有していると共に、地球温暖化防止、CO2削減、水源涵養機能等の多面的機能を有しており、今後我が国が目指すべき低炭素社会の実現に向け重要な資源としてのポテンシャルを有している。	中山間地域が持つ機能については、第1章第2節4「分散する様々な規模の都市と豊かな自然環境の共存の可能性」に主旨を反映。
鳥取県	日南町	10	農林業は中山間地域の主要産業であり、良質な農林産品を生産している。過疎、高齢化により近年衰退の一途にはあるが、我が国の食糧自給率の向上の面からも、今後その生産基盤と技術を継承していくことが重要となる。また、豊富なバイオマス資源を活用した新エネルギー産業としての位置づけの中で、研究・開発に取り組むべき方向性を示していく必要がある。これらの取り組みにより、中山間地域を多く含む当圏域における当該地域の持つ資源価値を高め、全国の中にあって特色のある地域づくりが期待できる。農林業後継者の確保とあわせて、バイオマスエネルギー等中山間地域の持つ地域資源を活用した新エネルギーの産業化を積極的に進めていくため、専修学校及び新エネルギー研究のための研究施設を設置するなど農林（水産）業の再生のための人材育成に取り組む。	農林水産業の人材育成については、第2章第1節4(2)「産業を支える人材の育成・確保」に主旨を反映。
島根県	松江市	11	原子力災害への対応について、中間整理の中で記述すること	原子力災害については、第3章14「◇防災生活圏の強化」に主旨を反映。
島根県	浜田市	12	港湾整備に関する取り組みを重点的に推進すること	日本海沿岸における港湾に関する整備については、第3章3「◇北東アジア交流を支える交通基盤の強化」に主旨を反映。
島根県	浜田市	13	高規格道路網の整備に関する取り組みを重点的に推進すること	高規格幹線道路の整備については、第3章4「◇広域的な幹線道路ネットワークの整備と利活用」に主旨を反映。

都道府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容（計画に記載すべき文章案）	中国圏広域地方計画計画原案（該当箇所等）
島根県	大田市	14	地球温暖化への対応について、環境にやさしい交通システムの推進として、環境対応型車両（電気自動車、電気バス、ハイブリッドバス等）の導入促進を図る記載	環境対応型車両の導入については、第3章8「◇環境負荷低減型の地域づくり」で主旨を反映。
島根県	雲南市	15	神話等の活用による文化観光に関する重点的な取り組みが必要。	歴史・文化の活用については、第3章10「◇魅力ある観光地の形成とネットワーク化」で主旨を反映。
島根県	雲南市	16	オンリーワンの企業を中心とした産業群の育成。	オンリーワン企業の育成については、第3章1「◇技術開発等を通じた基幹産業の国際競争力強化」で主旨を反映。
岡山県	津山市	17	都市分散型の地域構造に配慮した施策を重点的に推進すること	都市分散型の地域構造への配慮については、第3章7「◇地域の実情に応じた交通機能の確保と情報通信環境の充実」で主旨を反映。
岡山県	井原市	18	地域医療支援に関する取組を重点的に推進すること	地域医療については、第3章7「◇医療・福祉ネットワークの充実」に主旨を反映。
岡山県	備前市	19	新幹線や中国圏内外を連絡するJR在来線等の鉄道の利便性向上などにより、公共交通ネットワークの高度化を図る。	中国圏内外との連携については、第2章第1節1.（4）「基幹的な交通機能の整備」に主旨を反映。
岡山県	備前市	20	瀬戸内海を基軸とした近畿・四国・九州圏との広域連携により、「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」等の活動を通じて、高速海上交通時代に対応した今日的意義のある航路体系の再構築や地震、津波、高潮などの沿岸域の災害に対応した防災ネットワークの整備、失われた干潟、藻場の再生や災害等により荒廃した山の修復等の環境創造を行う。また、瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代における魅力発信を行う。	瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の活動指針に基づく取組は、第3章9「■目的・コンセプト」に主旨を反映。
岡山県	備前市	21	上記のような背景を踏まえ、観光交流の拡大・物流の効率化・産業の新展開などによる中国圏の振興を図るため、圏域を超えた高速道路網及び広域幹線道路の整備・活用や瀬戸内海における航路体系の再構築を図るとともに、東アジアをはじめとした海外へのシームレスな物流ネットワークの確立に向けた物流基盤の整備等を進める。また、日本海から太平洋までの南北軸の強化により、日本海側の物流の効率化、産業の新展開、観光交流の拡大を図る。	生活交通に密着している国道等の整備については、第4章（広域交通ネットワークの連携促進）で主旨を反映。

都道府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容（計画に記載すべき文章案）	中国圏広域地方計画計画原案（該当箇所等）
広島県	三原市	22	<p>【計画】7行目</p> <p>・・・既存高速ネットワークの効率的活用を推進する。さらに、海外、他圏域からの交流ゲートである空港への交通アクセスネットワークの強化を推進する。</p> <p>【PT】具体的な取組内容 ○広域的な幹線道路ネットワークの整備と利活用 3項</p> <p>・中国・四国圏域唯一の地域拠点空港である広島空港へのアクセス強化と、各空港・港湾へのアクセス向上を推進</p>	<p>港湾・空港へのアクセスについては、第3章11「◇人的交流のゲートウェイ形成に向けた国際交通機能の強化」に主旨を反映。</p>
広島県	尾道市	23	<p>瀬戸内海を基軸とした近畿・四国・九州圏との広域連携により、「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」等の活動を通じて、高速海上交通時代に対応した今日的意義のある航路体系の再構築や地震、津波に対応した防災ネットワークの整備、失われた干潟、藻場の再生や災害等により荒廃した山の修復等の環境創造を行う。また、瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代における魅力発信を行う。</p>	<p>瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の活動指針に基づく取組は、第3章9「■目的・コンセプト」に主旨を反映。</p>
広島県	福山市	24	<p>食料自給率向上に向けた取組を重点的に推進すること</p>	<p>食料自給率の向上に向けた取組については、第3章5「◇売れる農林水産物・加工品づくり」に主旨を反映。</p>
広島県	福山市	25	<p>瀬戸内海を基軸とした近畿・四国・九州圏との広域連携により、「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」等の活動を通じて、高速海上交通時代に対応した今日的意義のある航路体系の再構築や地震、津波に対応した防災ネットワークの整備、失われた干潟、藻場の再生や災害等により荒廃した山の修復等の環境創造を行う。また、瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代における魅力発信を行う。</p>	<p>瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の活動指針に基づく取組は、第3章9「■目的・コンセプト」に主旨を反映。</p>
広島県	大竹市	26	<p>瀬戸内海を基軸とした近畿・四国・九州圏との広域連携により、「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」等の活動を通じて、高速海上交通時代に対応した今日的意義のある航路体系の再構築や地震、津波に対応した防災ネットワークの整備、失われた干潟、藻場の再生や災害等により荒廃した山の修復等の環境創造を行う。また、瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代における魅力発信を行う。</p>	<p>瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の活動指針に基づく取組は、第3章9「■目的・コンセプト」に主旨を反映。</p>

都道府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容（計画に記載すべき文章案）	中国圏広域地方計画計画原案（該当箇所等）
広島県	熊野町	27	（主）矢野安浦線，（一）瀬野呉線のバイパス整備や拡幅改良の推進	日帰り交流が困難な地域については、第3章7「◇地域の実情に応じた交通機能の確保と情報通信環境の充実」で主旨を反映。 なお、個別具体の事業については、プロジェクトの推進に必要な広域性のある代表的な取組を記載することとしている。
広島県	坂町	28	瀬戸内海を基軸とした近畿・四国・九州圏との広域連携により、「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」等の活動を通じて、高速海上交通時代に対応した今日的意義のある航路体系の再構築や地震、津波に対応した防災ネットワークの整備、失われた干潟、藻場の再生や災害等により荒廃した山の修復等の環境創造を行う。また、瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代における魅力発信を行う。	瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の活動指針に基づく取組は、第3章9「■目的・コンセプト」に主旨を反映。
山口県	下関市	29	複数の国土軸が交差する関門海峡部において、災害発生時のリダンダンシーの確保、道路ネットワークの確実性の向上に向け、中・長期的視点から着実に取り組む。	海峡横断プロジェクトについては、国として個別のプロジェクトの事業に関する調査は今後行わないこととしたところであり、このことも踏まえ、国土形成計画全国計画（平成20年7月閣議決定）において、「長期的視点から取り組む」とされている。このため、広域地方計画において、特定の海峡横断プロジェクトについては記載しないこととする。 なお、当該地域において、広域的な交流・連携を促進していくことは重要であることから、その主旨を第4章（広域交通ネットワークの連携促進）に記載している。

都道府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容（計画に記載すべき文章案）	中国圏広域地方計画計画原案（該当箇所等）
山口県	下関市	30	隣接圏域との交流・連携を促進するため、交通ネットワークの機能強化を図る。特に九州圏との交流・連携の一層の促進に向け、関門海峡部を連結する道路等の交通体系の整備・充実について、中・長期的視点から着実に取り組む。	海峡横断プロジェクトについては、国として個別のプロジェクトの事業に関する調査は今後行わないこととしたところでありこのことも踏まえ、国土形成計画全国計画（平成20年7月閣議決定）において、「長期的視点から取り組む」とされている。このため、広域地方計画において、特定の海峡横断プロジェクトについては記載しないこととする。 なお、当該地域において、広域的な交流・連携を促進していくことは重要であることから、その主旨を第4章（広域交通ネットワークの連携促進）に記載している。
山口県	下関市	31	特に九州圏との機能連携の一層の促進に向け、関門海峡部を連結する道路等の交通体系の整備・充実について、中・長期的視点から着実に取り組む。	海峡横断プロジェクトについては、国として個別のプロジェクトの事業に関する調査は今後行わないこととしたところでありこのことも踏まえ、国土形成計画全国計画（平成20年7月閣議決定）において、「長期的視点から取り組む」とされている。このため、広域地方計画において、特定の海峡横断プロジェクトについては記載しないこととする。 なお、当該地域において、広域的な交流・連携を促進していくことは重要であることから、その主旨を第4章（広域交通ネットワークの連携促進）に記載している。
山口県	下関市	32	複数の国土軸が交差する関門海峡部において、災害発生時のリダンダンシーの確保、道路ネットワークの確実性の向上に向け、中・長期的視点から着実に取り組む。	海峡横断プロジェクトについては、国として個別のプロジェクトの事業に関する調査は今後行わないこととしたところでありこのことも踏まえ、国土形成計画全国計画（平成20年7月閣議決定）において、「長期的視点から取り組む」とされている。このため、広域地方計画において、特定の海峡横断プロジェクトについては記載しないこととする。 なお、当該地域において、広域的な交流・連携を促進していくことは重要であることから、その主旨を第4章（広域交通ネットワークの連携促進）に記載している。

都道府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容（計画に記載すべき文章案）	中国圏広域地方計画計画原案（該当箇所等）
山口県	下関市	33	特に九州圏との観光・物流・産業の交流拡大・充実に向け、関門海峡部を連結する道路等の交通体系の整備・充実について、中・長期的視点から着実に取り組む。また、山陰と九州圏との交流・連携の活性化に向け、山陰の高規格道路については、九州圏と連結を推進する。	<p>海峡横断プロジェクトについては、国として個別のプロジェクトの事業に関する調査は今後行わないこととしたところでありこのことも踏まえ、国土形成計画全国計画（平成20年7月閣議決定）において、「長期的視点から取り組む」とされている。このため、広域地方計画において、特定の海峡横断プロジェクトについては記載しないこととする。</p> <p>なお、当該地域において、広域的な交流・連携を促進していくことは重要であることから、その主旨を第4章（広域交通ネットワークの連携促進）に記載している。</p>
山口県	下関市	34	【特記】地域高規格道路候補路線「下関北九州道路」である「関門海峡道路」の整備促進に関する取組を重点的に推進すること	<p>海峡横断プロジェクトについては、国として個別のプロジェクトの事業に関する調査は今後行わないこととしたところでありこのことも踏まえ、国土形成計画全国計画（平成20年7月閣議決定）において、「長期的視点から取り組む」とされている。このため、広域地方計画において、特定の海峡横断プロジェクトについては記載しないこととする。</p> <p>なお、当該地域において、広域的な交流・連携を促進していくことは重要であることから、その主旨を第4章（広域交通ネットワークの連携促進）に記載している。</p>
山口県	萩市	35	山陰自動車道整備（特に萩～益田間）の取り組み及び陰陽連絡のための小郡萩道路の整備を重点的に進めること。また、山陰側益田市以西の鉄道の機能強化にも留意すること。	<p>山陰や山陽の連絡及び山陰東西の連絡については、第3章4「◇広域的な幹線道路ネットワークの整備と利活用」に主旨を反映。</p> <p>また、鉄道の機能強化については、第3章7「地域の实情に応じた交通機能の確保と情報通信環境の充実」で主旨を反映。</p> <p>なお、個別具体の事業については、プロジェクトの推進に必要な広域性のある代表的な事業を記載することとしている。</p>

都道府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容（計画に記載すべき文章案）	中国圏広域地方計画計画原案（該当箇所等）
山口県	萩市	36	良好な景観の保全と形成が重要である。また、地域の歴史的風致を維持向上することが重要である。また、既に登録された世界遺産だけでなく、現在登録に向けて取り組んでいる圏域資産（九州山口の近代化産業遺産群を含む）についても留意すること。	地域の歴史的風致の維持向上や登録予定の世界遺産については、第3章10「◇魅力ある歴史・文化・自然の保護・継承・創造」に主旨を反映。
山口県	萩市	37	基礎自治体の再編と生活に必要なサービス確保という記述について、①基礎自治体が意思決定できるという地方分権推進の観点を反映すること。その上で②住民に身近な市町村の意見が国土形成計画にも反映されるなど、基礎自治体との連携、その役割について明記することが肝要。	市町村等の基礎自治体の役割等については、第5章1.（1）「一体的な推進体制」で主旨を反映。
山口県	萩市	38	中山間地域の振興という観点において、これまでに整備された（膨大な国費等が投入された）農地を次世代に継承できるかどうか非常に重要かつ切実な問題である。加えて、集落機能をどのように維持するかも大きな課題である。また、漁業資源の確保という観点は世界的なテーマでもあり域内の資源を保全する取り組みも必要である。グリーンツーリズムなどの取り組みも必要ではあるが、こうした、本質論について十分記述していただきたい。また、地域に若者が定着するためには、Uターンも必要ではあるが、根本的ないわゆる職業高校などと連携した地域への定着対策が必要である。	農地の次世代への継承や、職業高校などと連携した地域定着対策については、第3章5「◇過疎・高齢化の進行等に対応した担い手の育成・確保」に主旨を反映。 漁業資源については第3章14「◇環境対策・海洋資源保護の促進」に主旨を反映。
山口県	防府市	39	災害時の防災拠点機能や交通ネットワークを確保するため、民間のみならず自衛隊基地等も含めた空港施設の耐震性の向上、港湾におけるオープンスペースの確保や耐震強化岸壁の整備促進、幹線道路の耐震化等を図る。	防災拠点機能確保のための耐震化については、第3章14「◇社会資本・建築物等の耐震性強化」に主旨を反映。
山口県	防府市	40	瀬戸内海を基軸とした近畿・四国・九州圏との広域連携により、「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」等の活動を通じて、高速海上交通時代に対応した防災ネットワークの整備、失われた干潟、藻場の再生や災害等により荒廃した山の修復等の環境創造を行う。また、瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代における魅力発信を行う。	瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の活動指針に基づく取組は、第3章9「■目的・コンセプト」に主旨を反映。

都道府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容（計画に記載すべき文章案）	中国圏広域地方計画計画原案（該当箇所等）
山口県	光市	41	「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」等の活動を通じて、瀬戸内海を基軸とした近畿・四国・九州圏との広域連携を強化し、高速海上交通時代に対応した今日的意義のある航路体系の再構築や地震、津波に対応した防災ネットワークの整備、失われた干潟、藻場の再生や災害等により荒廃した山の修復等の環境創造を行う。また、瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代における魅力発信を行うとともに、…（以下同じ）	瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の活動指針に基づく取組は、第3章9「■目的・コンセプト」に主旨を反映。
山口県	光市	42	…海岸侵食を防止し、砂浜の回復を行う。一方、古くから人と自然が共存し、海岸付近まで市街地が迫る瀬戸内海沿岸では、住民の安全・安心の確保と良好な自然環境の両立を念頭に、できる限り環境・景観への負荷が少ない海岸侵食対策を進める。また、より有効な技術の検討・評価や…（以下同じ）	自然環境と安心・安全の確保については、第3章9「◇協働による瀬戸内海の環境保全と創造」に主旨を反映。
山口県	田布施町	43	瀬戸内海沿岸に集積する、基礎素材産業を中心とする産業廃棄物等の自然環境保全を前提とした広域的な受け入れ・再資源化への取組を進めるとともに、……	自然環境の保全に配慮した取組については、第2章 第1節2（2）「広域的な産業連携の推進」に主旨を反映。